



代っ子通信

令和7年11月18日

〈第40号〉

校長 平塚智康

マラソン大会 ～たくましい心と体を～

11月12日（水）、とても気持ちの良い小春日和の秋空の下、マラソン大会が行われました。今、かなざわマラソンをはじめ、全国各地で様々なマラソン大会が開かれ、マラソンを生涯スポーツとして楽しむ人たちが増えています。しかし、子どもたちにとって、長い距離を走るマラソン（持久走）は、つらいし苦しいし、できれば走りたくないなあと思う子が多いのが現実です。（私もそんな子どもでした。）

運動会が終わった後、子どもたちは、自分の目標を立て、運動場のトラックを何周も走りながら、そして本番のコースの下見をするなどして練習を重ねてきました。マラソン練習のある日は、憂鬱な気持ちになった子も少なくないはずです。しかし、そんな逃げ出したい気持ちと向き合い葛藤しながら、子どもたちの心と体は少しずつ強くなっていきます。（私もそんな風に小学校時代、マラソン練習やマラソン大会を乗り越え、中学時代には学校の駅伝代表選手として市で優勝するまでに成長できました。記録だけでなく、人生をたくましく生き抜く精神力の基礎も培われたと思っています。マラソン愛好者の方々も、つらさや苦しみを乗り越えた向こう側にある達成感や喜びを求めて、マラソンにはまってしまうのかもしれない。）

仏教の教えに「四苦八苦」という言葉があります。人生には、つらいこと、苦しいことが山ほどあります。子どもたちには、つらいことやいやなことから逃げ出さずに、逆境や困難を乗り越えていく、たくましい心と体を身につけてほしいと願っています。



2年 ○○ ○○

マラソンれんしゅうがある日は5しゅうはぜったいはしることをがんばりました。つらかったけど、マラソン大会本ばんにむけてがんばりました。いえでもれんしゅうしたし、どこかへいってもマラソンれんしゅうするほど1いをとりたいところでおもっていました。マラソン大会本ばんだとおもってれんしゅうしていました。

マラソン大会本ばんのならんでいるときがいちばんきんちょうしました。けど、はしったらきんちょうがなくなりました。1いになったのがうれしかったんじゃなくて、おもいきりはしれたのがうれしかったです。本ばんにはしっていたら、しらない人におうえんしてもらったのがうれしかったです。

2年 ○○ ○○

マラソンれんしゅうではやくはしれるようにがんばっていっぱいぜんりょくではしりました。たいいくで、本ばんで前よりはやくなりたいからいつもがんばってはしりました。

マラソン大会本ばんでは、きんちょうしたけどいろんな人からおうえんをもらって、ぜんりょくでがんばっていっしょうけんめいはしりました。

2年 ○○ ○○

休みじかんたくさんはしってカードの3まいめの20まで行きました。本ばんはスタートしたら一生けんめいがんばってはしってコーンまで行きました。そしてゴールまで遠かったけどがんばってはしることができました。

4年 ○○ ○○

自分てきには、去年よりはやく走れたと思います。始まる前は、とても緊張していて、足が震えていました。走っているとき、絶対10位内にはいるぞ！という気持ちでした。でも、おしくも14位で悔しかったです。あと4人ぬかせたらなと思いました。でも練習のときよりもはやく走れました。

来年は、練習をいっぱいして絶対10位内に入りたいです。

4年 ○○ ○○

最後まで全力で走れてよかったです。みんなの声援のおかげで最後まで走り抜けることができました。緊張したけど、いざやってみるとあまり不安にならずにできました。あまりにハイペース過ぎてついていけなかったけど、最後まで頑張れたので、心のなかで悔しいと思ったけど自分の達成感も持てました。

マラソン大会 各学年 1 位のみなさん

<1年生>	男子1位 ○○ ○○	女子1位 ○○ ○○
<2年生>	男子1位 ○○ ○○	女子1位 ○○ ○○
<3年生>	男子1位 ○○ ○○	女子1位 ○○ ○○
<4年生>	男子1位 ○○ ○○	女子1位 ○○ ○○
<5年生>	男子1位 ○○ ○○	女子1位 ○○ ○○
<6年生>	男子1位 ○○ ○○	女子1位 ○○ ○○

最後までよくがんばって走りぬきました！
すばらしい！！

